

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】令和5年6月20日(2023.6.20)

【公開番号】特開2023-71900(P2023-71900A)
【公開日】令和5年5月23日(2023.5.23)
【年通号数】公開公報(特許)2023-094
【出願番号】特願2023-34164(P2023-34164)
【国際特許分類】

A 6 1 K 31/42(2006.01)
A 6 1 P 25/00(2006.01)
A 6 1 P 25/18(2006.01)
A 6 1 P 25/24(2006.01)
A 6 1 P 25/22(2006.01)
A 6 1 P 43/00(2006.01)
A 6 1 K 45/00(2006.01)
A 6 1 K 31/165(2006.01)
A 6 1 K 31/13(2006.01)
A 6 1 K 31/404(2006.01)
A 6 1 K 31/4025(2006.01)
A 6 1 K 31/495(2006.01)
A 6 1 K 31/496(2006.01)
A 6 1 K 31/55(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 31/42
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 43/00 1 2 1
A 6 1 K 45/00
A 6 1 K 31/165
A 6 1 K 31/13
A 6 1 K 31/404
A 6 1 K 31/4025
A 6 1 K 31/495
A 6 1 K 31/496
A 6 1 K 31/55

20

30

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月12日(2023.6.12)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

40

それを必要とするヒト対象におけるNMDA受容体精神神経障害の治療における使用のための組成物であって、前記組成物が、治療的有效量の、

50

≥ 500 mg / 日 ~ ≤ 1000 mg / 日の正味アンタゴニスト用量 (net antagonistic dose) で提供され、前記対象において、25 μg / mL 超の平均血漿レベルをもたらすように配合される D-サイクロセリンからなる第 1 の剤と；
S-ミルタザピン及び R-ミルタザピンからなる群から選択される抗うつ剤からなる第 2 の剤と、
を含み、

前記 NMDA 受容体精神神経障害が、うつ病、強迫性障害、及び不安障害からなる群から選択されることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記 D-サイクロセリンが 7.5 mg / kg / 日 ~ 12.5 mg / kg / 日の正味アンタゴニスト用量で提供される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記抗うつ剤が前記 R-ミルタザピンであり、前記 NMDA 受容体精神神経障害が前記うつ病である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記うつ病が、大うつ病、大うつ病性障害、非定型うつ病、激越性うつ病、メランコリー型うつ病、又は気分変調性障害である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記うつ病が双極性障害である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記双極性障害が双極 I 型又は双極 II 型のうつ病性障害である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記双極性障害が双極性うつ病に関連したうつ病エピソード又は混合性エピソードに関連する、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、前記対象における前記うつ病の症状を軽減する、自殺の発生を軽減する、又は自殺念慮を治療する、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

前記障害が自殺傾向に関連する、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

前記抗うつ剤が前記 S-ミルタザピンであり、前記 NMDA 受容体精神神経障害が前記強迫性障害又は前記不安障害である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 11】

うつ病、強迫性障害、及び不安障害の治療のために用いられる組成物であって、
≥ 500 mg / 日 ~ ≤ 1000 mg / 日の正味アンタゴニスト用量 (net antagonistic dose) で提供され、対象において、25 μg / mL 超の平均血漿レベルをもたらすように配合される D-サイクロセリンからなる第 1 の剤と；
S-ミルタザピン及び R-ミルタザピンからなる群から選択される抗うつ剤からなる第 2 の剤と、
を含むことを特徴とする組成物。

【請求項 12】

前記 D-サイクロセリンが 7.5 mg / kg / 日 ~ 12.5 mg / kg / 日の正味アンタゴニスト用量を提供するように配合される、請求項 11 に記載の組成物。

10

20

30

40

50